

# 真校魅力だより その22

## 真室川校の伝統と誇りをつなぐ ～除雪ボランティア・地域文化理解学習～

### ◆除雪ボランティア(1月27日(金))

真室川校では、地域貢献活動として以前から除雪ボランティアを行っています。今年も1～2年生が縦割りの3班に分かれ、町内にある3軒の住宅の除雪作業を行いました。

今年も町に豪雪対策本部が設置されるほどの大雪になりましたが、生徒たちは地域ボランティアの方々と1時間半ほどかけ、家の軒下や車庫周辺の雪をスコップやスノーダンプを使って次々と片付けていきました。

活動を行った2年の安食皇成さんは「雪が多くて大変でしたが、みんなと協力して片付けることが出来ました。住人の方から感謝されて、とても達成感があります」と話してくれました。



### ◆地域文化理解学習会(1月20日(金))

真室川校は、工房ストロー代表の高橋伸一さんを講師に迎え、1～2年生を対象に「地域文化理解学習会」と題して講話とわら細工体験を行いました。高橋さんは町職員時代に町内の伝承文化や伝承野菜などの魅力的な町の宝は担い手が減っていることを知り、これらを磨き上げ発信することで町を元気にしたいと就農し、工房ストローを立ち上げました。高橋さんは、わら細工はかつて衣食住に欠かせなかったが、高度経済成長期に出稼ぎ者が増えたことにより担い手が減少したと話してくれました。生徒たちは、4本のわらを使って栞づくり挑戦しました。高橋さんから手ほどきを受けながら編み上げていき、時間内に全員が栞を完成させました。

2年の栗田 聖さんは、お礼の言葉の中で「町の宝である伝承文化や伝承野菜、わら細工などの手仕事を残していきたいと思いました」と話してくれました。



## ようこそ先輩!! vol.13

真室川高校の卒業生は、様々な職業に就いて多方面で幅広く活躍しています。そんな先輩方の思いや後輩たちへのメッセージをお届けします。

### ～人にかかわる仕事がしたいと、看護師として頑張っています～



佐藤ひとみさん  
(平成7年度 卒業生)

町立真室川病院 勤務

私が通った真高は、自然に恵まれるのびのびと勉強ができる環境の学校です。高校では生徒会に入り役員として活動するほか、卓球部に所属しながらボランティア活動として、福寿荘を訪問し夏祭りの手伝いなどしていました。真高はスキー授業があり、秋山や神室、蔵王スキー場で友人たちと楽しく滑ったことが思い出となっています。

私は、人にかかわる仕事がしたいと看護専門学校に進学し、正看護師の資格を取得しました。現在は町立真室川病院の病棟看護師として勤務しています。看護師は命にかかわる責任ある仕事なので、緊張する場面もありますが、日々患者さんとかかわる中で、患者さんに「ありがとう」と言われたり、病気が良くなって笑顔で退院するときなど、やりがいを感じます。今は、退院後自宅でより良く暮らせるように、訪問看護や多職種と連携し患者家族を支援する「退院支援」に力を入れて取り組んでいます。

先輩の皆さんは、勉強を頑張り、積極的に活動してやりたいことに向かって突き進んでください。そして、友人を大切にしてください。高校での友人が一生の友人となります。

看護師はやりがいのある仕事なので、目指してほしいと思います。一緒に働きましょう。